

バレー男子

1月5~9日・東京

雄物川

(27年連続
27度目)

全国で輝け

大舞台に挑む本県高校チーム

⑦

レシーブ練習に汗を流す雄物川の選手。同校体育館



さきがけ動画



27年連続で全日本高校選手権(春高バレー)に出場する。チームの平均身長は昨年より2センチ高い178センチとなり、攻

撃力が増した。テンボの速いバレーを磨いており、石塚蓮主将(3年)は「スパイカーとセッターのコミュニケーションを安定させていきたい」と語る。1回戦は松江工(島根)と対戦。目標は4強進出だ。

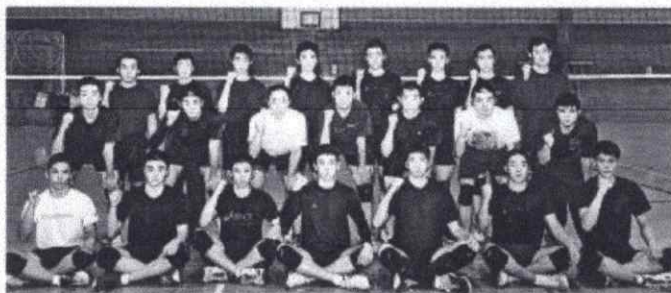
昨年は初戦で強豪の福井工大福井にストレート負けを喫した。だが高校トップレベルのスパイカーに対し、粘り強いレシーブやコースを絞るブロックで応戦。指揮を執って8年目になる宇佐美大輔監督は「勝てなかった時期はある

が、個々の能力を上げて戦うやり方は間違いないでなかったとも感じられた」と振り返る。バランス良くスパイクが打てるチームだ。エースは石塚、角田颯哉(3年)の両アウトサイドヒッター。1年から主

個々の能力上げ戦う

番	氏名	出身中	身長(センチ)
1	◎石塚蓮	横手明峰	187
2	角田颯哉	柳津学園(福島)	188
3	富澤蛸音	駒留(東京)	174
4	高橋歩	飯山満(千葉)	174
5	滝澤大希	御徒町台東(東京)	177
6	森野峻史	柏葉(東京)	187
7	佐々木翼	羽後	173
8	高橋一太	横手北	184
9	最上航帆	横手明峰	186
10	本間未来	鶴岡一(山形)	176
11	大友響輝	横手明峰	184
12	山本恭平	御徒町台東(東京)	170
13	武田政吾	荒川五(東京)	174
14	佐藤吏	下橋(岩手)	175
15	高辻悠天	平鹿	178
16	古屋龍之介	十文字	182
17	菊池康太	横手明峰	170
18	今井光星	刈江(東京)	177

(丸数字は学年、◎は主将)



た。石塚は力強さが増し、守備が課題だった角田もレシーブ全般が向上した。ミドルブロッカーの森野峻史(1年)と高橋一太(同)は攻撃でも活躍を見せられるか。高橋一は最高到達点がチームの330センチで「自分より身長が高い選手の攻撃もブロックで止めたい」と闘志を燃やす。攻撃力を生かすためにも、サーブレシーブは確実にこなしたい。リベロ佐々木翼(2年)は昨年、けがで出場できなかっただけに楽しみが大きいという。「レシーブの位置を徹底することで上がるボールは増えている。堅くいきたい」と意気込む。初戦を突破すれば、2回戦で福井工大福井と再び顔を合わせる可能性がある。石塚は「去年のリベンジができる組み合わせ。執念のレシーブ、逃げたら終わらだという自己暗示でしっかり決めたい」と語る。宇佐美監督は4人の3年生に「最後は底力を見せられたらいい。ガツガツいってほしい」と期待を込めた。

(加藤倫子)